

ホテルでSDGs体験

【利用期間】2022年10月～2025年3月末まで
(大阪新阪急ホテルのみ2024年9月30日まで)



【対象ホテル】

大阪新阪急ホテル・ホテル阪神大阪
千里阪急ホテル・京都新阪急ホテル

ホテルでSDGs体験 商品一覧

A

ホテルスタッフによるSDGsに関する講習会



30分 100,000円

阪急阪神ホテルズの取り組みの講習を通じて、SDGsへの理解を深めていただきます。

※講習内容・時間はご要望に応じて変更いただけます

B

カードゲーム「SDGs de 地方創生」



2時間 200,000円～ ※20～60名様の場合

地方創生に取り組む日本の自治体(まち)の具体的なアクションをカードの題材に、「人口」「経済」「環境」「暮らし」という4つの指標を意識しながらSDGsの重要性などを学びます。

※61名様以上の場合は別途ご相談ください

C

対象ホテルレストランまたは宴会場のご夕食にて

サステナブルフード等を使ったSDGsメニューをご提供

(例)「大豆ミート」を使ったメニュー

※メニューは変更する場合がございます

通常料金内に含む(宴会場の場合は要相談)



※表記の料金にはいずれも、消費税・サービス料が含まれます。

【お問い合わせ】TEL:06-6372-6701 (セールス&レベニューマネジメント部(西日本)国内セールス直通)

※月～金10:00～17:00(祝日除く)

阪急阪神ホテルズが取り組むSDGs

私たちは、SDGs(持続可能な開発目標)を深く理解し行動するため、阪急阪神ホテルズの企業理念に基づき、SDGs基本方針(目指す姿)および6つの重要テーマ(社会課題の中から重点的に取り組むテーマ)を掲げています。これら6つの重要テーマは、阪急阪神ホールディングスグループ全体の取り組みとして推し進めています。

私たちはSDGsに賛同し、ホテル事業を通じてさまざまな活動に取り組んでいきます。

6つの重要テーマ

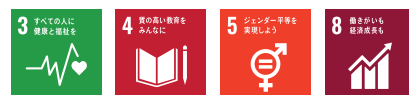
取り組みの詳細はこちらから▶



1 安全・安心の追求



4 一人ひとりの活躍



2 豊かなまちづくり



5 環境保全の推進



3 未来へつながる暮らしの提案

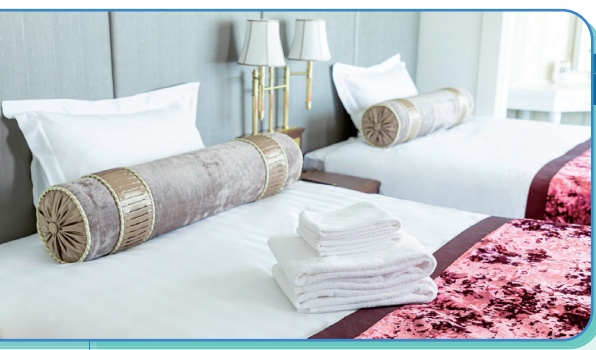


6 ガバナンスの充実



取り組みの一例

客室内のリネン類の再利用による節水と洗濯汚染の低減



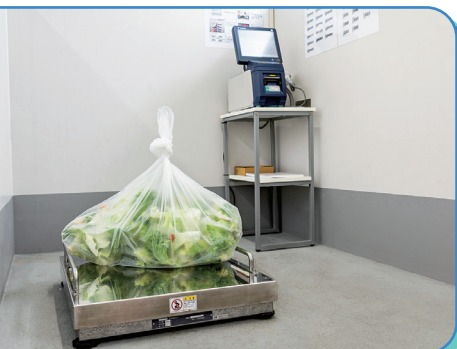
連泊されるお客様を対象に、ご賛同いただいたお客様は1泊目に使用した客室内のリネン類をそのままご使用いただくことで、洗濯により排出する汚水量の低減に努めています。また、この取り組みにより節約された洗濯代の一部を、各地域の環境保全団体等へ寄付しています。

ペットボトルキャップ回収運動で子どもたちにワクチンを寄贈

2020年より全従業員が身近に参加できるペットボトルキャップの回収運動を実施。リサイクル業者を通じて、定期的に回収されたキャップの代金をNPO法人「世界の子どもにワクチンを 日本委員会(JCV)」へ寄付しています。



食品廃棄物削減やリサイクルによる循環型社会への貢献



食品ロスが問題視される中、まず事業所ごとに食品廃棄物の実態を把握することから着手し、食品廃棄物計量システムのテスト導入を開始、対策を検討しています。また第一ホテル東京では生ゴミを堆肥として、大阪新阪急ホテルでは生ゴミを養豚飼料としてそれぞれ再利用し、廃棄物の削減と資源の有効活用を図っています。

食品廃棄物計量システム導入ホテル:ホテル阪急インターナショナル、宝塚ホテル、第一ホテル東京、ホテル阪急レスパイヤ大阪、ホテル阪神大阪